

第二学年 学習指導案（国語科）

- 1 対象 第二学年1組 42名
 2 日時 平成29年6月9日（金曜日） 第3校時 10:55～11:45
 3 場所 2-1（301）教室
 4 単元名 中島敦 『山月記』

5 単元について

(1) 教材観

中国古典文学『人虎伝』を元に制作された漢文劇読劇の物語文である。冒頭部分を中心にやや難解な語句が用いられているが、文章の展開は明快であり、ストーリー自体を理解することは難しくないと考えられる。

主人公である李徴の内面に焦点をあて、「臆病な自尊心」と「華大な羞恥心」のもとに苦しむ様子が描写されているが、それらをはじめ本文中に示されている様々な苦悩は読者にも通ずるものがあり、読むことで自らを顧みることにつながる作品である。

(2) 生徒観

今回の作品は二年生に進級して初めての物語の単元である。語彙の難解さから少し作品に対して難しい印象を受けていた者もみられたが、並行して古典で『人虎伝』を扱っていることから作品の背景把握をしやすかったという意見もあった。

積極的にノートやプリントにメモを取り、授業を理解しようという意欲が高い生徒が多く見られる。事前課題の鳥瞰図への取り組みも全体を通して真面目に行われており、またそれを通して簡単な内容把握は前もって全員が済ませている状態である。

一問一答の発問に対する反応は良いが、筆者の細やかな表現効果の捉え方や、記述式の回答作成の完成度に関しては個人差があり、特に記述においては苦手意識がある生徒が少なくないのが現状である。

(3) 指導観

まず、難しい語彙については適宜注釈を参照したり、事前の語句調べを踏まえたりするよう指示し、文章理解を行う。授業中に意味を聞く機会を設け、正しく理解されているか確認する。

また、人物像、情景、心情などを的確に捉えられるようにする。特に、情景描写が多用されている作品なので、それが何を表しているのか具体化した上で内容理解に役立てていくことを強調する。作者が意図的に描写している部分にも注目し、その効果や役割もおさえていく。

答えが出にくいと考えられる場合や、記述式の解答を作成する場面ではグループワークを行う。国語が苦手な生徒も巻き込んで周囲と協力する機会を設定し、自身の考えを言語化できる力を身に付けられるようにする。

6 単元の目標

- ・小説の構成、登場人物の性格、心理等に注意し、細部の表現をも深く理解し、味わうことのできる力を養う。
- ・文章を読んで、書き手の意図や、人物、情景、心情の描写などを的確にとらえ、表現を味わう。（指導要領イ）
- ・語句の意味、用法を的確に理解し、語彙を豊かにするとともに、文体や修辞などの表現上の特色をとらえ、自分の表現や推敲に役立てる。（指導要領オ）"

7 単元の評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	書く能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・小説のおもしろさを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。 ・小説を読んで、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、人間、などについて考えを深めようとしている。 ・文章の独特な表現に注目し、その効果を理解しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文劇読劇の文章のリズムや響きを味わっている。 ・場面の展開を理解し、作品の構成を把握している。 ・李徴が虎になった理由を、整理して読み取っている。 ・「臆病な自尊心」「華大な羞恥心」とはどのようなものか、文脈から読み取り、作品の主題を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に提示された問題に関して、表現を一般化した上で回答を作成しようとしている。 ・情景描写に注目し、それが具体的に何を表しているか言語化できる。 ・作品を通して考えたことを、自分の考えを明確にまとめていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・注釈や語句調べを参考にし、普段なじみのない漢語の意味を理解している。 ・作品と『人虎伝』とのかわりを踏まえ、比較し、作品の成立背景の理解に生かそうとしている。

8 単元の指導計画（全7時間）

- 第一時限 ・筆者について知る
 ・李徴の人物像を捉える
- 第二時限 ・豪傑の人物像を捉える
 ・旧友と再会した李徴の心情を読みとる
- 第三時限 ・李徴が虎になる過程と虎になった理由①をおさえる
 ・比喩表現を一般化する
- 第四時限 ・李徴（の詩）に欠けているものを追及する
 （本時）
 ・自嘲の意図をつかむ
 ・詩の基本事項をおさえ、解釈する
- 第五時限 ・「臆病な自尊心」「華大な羞恥心」の解釈
 ・虎になった理由②をおさえる
- 第六時限 ・虎になった理由③をおさえる
 ・月という情景描写は何のメタファーとなっているか解釈する
- 第七時限 ・要点のまとめ

9. 本時案 (第4時)

<本時目標>

- ・李徴の作品に欠けているものを本文の表現に基づいて考えることができる
- ・李徴がなぜ自身を貶めるのかとらえることができる

<本時の展開>

学習活動	指導上の留意点	評価 (評価の観点、方法)
1. 前時の要点を振り返る	・李徴は虎に姿身した理由をどのようにとらえていたか。 ・比喩表現の具体化	
2. 本時の内容確認	○簡単に板書し、視覚化する	
3. 第四場面の音読を聞く ・読み方が分からないものにルビを振る。	・わからない読み等確認するよう指示 ○読み終えた後分からない所がないか確認	
4. 内容を確認する ・配布プリントに記入しながら内容を把握する	①李徴が哀憐に詩の伝録を頼んだ理由 →名を残す(成す)ため、 破産し、心を狂わせてまで執筆したものを少しでも後代に伝えるため 等	・自身の考えを適切に文章化することができるか(プリント・発表)
・以下、グループで意見を交換しながら解答を考えていく。	②李徴の作品の「欠ける」とは何か →詩を作るのに他人と交わろうとしなかった、切磋琢磨しなかった、 作品ではなく名前を残したかった 等	・適宜メモをとり、文章理解に役立てられているか(プリント・ノート・教科書)
・自身の解答に加え、適宜必要と思われることはメモを取る。	○本文中に明確な答は示されておらず、該当箇所の一部は未習なので、既習済の部分から推測するよう伝える。 ○正解は絞らせず、根拠を見つけ出して回答しているかを重視する。	・他者と積極的に意見交流し、自身の考えを深められているか (グループワーク・プリント)
	③李徴の自嘲について ・「自嘲」の意味をおさえる →自分をおとしめる 自らをあざけている表現を抜き出す ・あさましい身となり果てた ・噓ってくれ ・詩人になりそこなって虎になった 哀れな男 ・お笑いぐさついで ↓ どうして自嘲しているのか →人から指摘される前に先に自嘲してしまうことで自身の弱さを隠すため	

5. 本時のまとめ	④「しるし」としての詩 ・この詩を残した理由を抑える →才能豊かだった李徴がまだ生きている、能力があることを伝える為 ・基本事項を抑える →形式…七言律詩 押韻…迷、高、素、暁 対句…第三、四句・第五、六句 ・狂疾(精神の病)＝虎になった理由② ・共に一龍と誰? ・我＝李徴、君＝袁倓 ・山明月二対シ→山と月は何を表しているか。 ○タイトルにもなっていることに注目	・漢詩の基本事項を正しく抑え、内容解釈に役立てることができる。 (プリント・発表)
	○本時目標に戻って確認する ・李徴は自身の名や才能を残したかった ・自嘲することで自身の弱さを守る ・詩に表れる李徴の思い	・詩の描写が何を表しているか正しく捉える事ができている。 (プリント・発表)

10 板書計画

山月記 中島敦

目標：李徴に欠けているものについて考える
・李徴が自嘲する理由をおさえる

・詩の伝録を頼んだ理由
→名を残す(世に残す)ため
心を狂わせて執筆したものを後代に伝えるため

◎李徴の作品に欠けているところ

生徒の意見を板書する。
・他人と切磋琢磨しない
・詩ではなく名前を残したい 等

◎なぜ李徴は自嘲するのか

人から指摘される前に先に自嘲してしまうことで自身の弱さを隠すため 等

・詩を作った理由
→かっつての李徴が生きているしるしを残す為

|| 精神の病
狂疾：虎になった理由②
共に：李徴と袁倓 我：李徴 君：袁倓
|| 袁倓 || 李徴
溪山 明月に対し

11 準備物

教師：教科書、プリント
生徒：教科書、授業プリント、語句調べプリント、ノート

「山月記」(中島敦)

() (組) () (番名前)

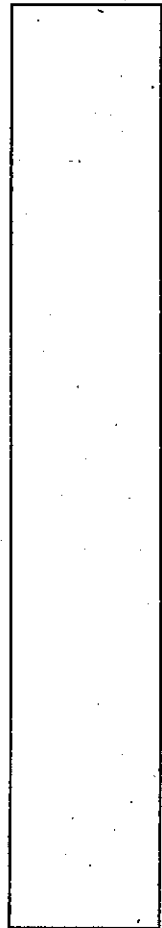
IV (第七段落) 第一三段落

李徴の頼み

・李徴が袁修に詩の伝録を頼んだ理由

() (ため)

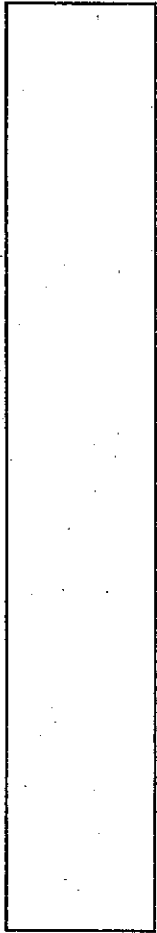
・袁修はなぜ「欠けるところがあるのではないか」(126頁11行目)と感じたのか。



李徴の自嘲癖

・李徴が自嘲していること分かる本文中の表現に線を引こう。

← 何のために李徴は自嘲していると考えられるか。



李徴の詩

↓詩を作った理由…()

(ため)

偶^{トモトモ}因^{ユヅリテ}狂^{キヤウ}疾^{シツ}成^{ナリ}殊^{トコ}類^ル 災^{サイ}患^{ヱン}相^{サウ}仍^{ニヤ}不^ズ可^ハ逃^{カハラ}

今^{イマ}日^ヒ爪^{ツメ}牙^ガ誰^{タレカ}敢^{アゲテ}敵^{テキ} 当^{トウ}時^ジ声^{セイ}跡^{セキ}共^{キョウ}相^{サウ}高^{カウ}

我^ガ為^シ異^イ物^{モノ}蓬^{ホウ}茅^{マウ}下^ゲ 君^{キミ}已^イ乘^{シヨリ}輶^{キョウ}气^キ勢^{セイ}豪^{コウ}

此^{コノ}夕^{ユフ}溪^{セキ}山^{サン}对^シ明^{メイ}月^{ゲツ} 不^ズ成^セ長^{チヤウ}嘯^{セウ}但^{タカ}成^ス嘯^{セウ}